

平成 25 年度第 3 回テンミリオンハウス事業採択・評価委員会

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| ■日 | 時：平成 25 年 12 月 16 日（月）18：30～20：40 |
| ■場 | 所：市役所西棟 8 階 811 会議室 |
| ■出席委員 | ：8 名（欠席 1 名） |
| ■事務局 | ：高齢者支援課、保育課、市民社会福祉協議会 |

1 開会

2 配布資料確認

事務局より配布資料の説明

3 議事

（1）平成 26 年度事業計画採択

◆ 平成 26 年度事業計画運営団体ヒアリング

第 1 グループ（川路さんち、花時計、関三倶楽部、月見路）

【委員長】 みなさん、こんばんは。本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございます。では、川路さんちからおねがいます。

【川路さんち】 川路さんちは、今年 11 月に 14 周年を迎えました。開所当時から通っていらっしゃる方が、6、7人いらっしゃいます。皆さん 90 歳代で、週に 1、2 回、多い方で 4 回お見えになっています。皆さんとてもお元気で、「川路さんちがあるから、こんなに元気でいられる。」という嬉しい言葉をいただいています。

高齢になるとあまりプログラムを好まれず、だんだんお辞めになって、今までご自分になさってきた編み物やパッチワークや刺しゅうなどを皆さんと楽しくお話をしながら、気の向くままになさっています。そういう時間がとても嬉しいとおっしゃっています。そういう時間を大切にするのも良いかなと思いました。そして、みなさん素晴らしい作品を作られています。

もう少し若い 70 代 80 代になると、プログラムをととても楽しみになさっていて、編み物教室などは、自分がやっていた方はあまり毛糸がたくさんあるので、気に入った毛糸を持ってきて、講師の方がとても細かく一人ひとり指導してくださるので、自分の好みのセーターやベスト、マフラー、靴下カバーなどを編んでいます。出来上がるとファッションショーが始まり、それを見てまた新しいものを作りたくなって、みなさん続けてらっしゃいます。

書道は、通常百人一首を書いています。今は年賀状などを練習されています。とても

腕が上がっていったって、10月にコミュニティセンターで展示会があった時に素晴らしい作品を展示していただきました。

コーラスは、古くから歌われている歌、新しい歌を歌っています。こちら先生がとても上手に指導されて、間にゲームを入れながら、非常に盛り上がり楽しく歌っています。お昼を中心にみなさん1日いらっしゃいます。お昼も1時間かけてゆっくり召し上がり、
「たくさんいただくと、夜は本当に少ししか食べられないのよ」と言われますが、1日に1食でも野菜の多い充実した献立を提供しているので、みなさん楽しみに召し上がっていただいています。これからもゆっくりできる時間を大切にして、皆さんに満足していただけるようにしていきたいと思っています。

予算についてですが、利用人数が多くなりまして、1日の利用者が20人くらいになる日もあります。2人のスタッフでは調理がとても無理なので、プログラムがある曜日と人数が多いときに1人ずつ補助を入れました。そのため人件費が増えまして、平成26年度は利用料を100円いただくということを考えました。食費を上げても収入と支出が同じなので、みなさんには大変申し訳ありませんが、利用料を100円とすることを提案いたしました。

【委員長】ありがとうございました。では、質問がある方はいらっしゃいますか？

【副委員長】100円の利用料ということですが、これでスタッフの補充分の人件費が賄えるということでしょうか？

【川路さんち】何とか頑張ります。入ってくるお金は決まっていますので、何とかこれでスタッフ一同頑張ろうと思っています。1日1200円くらい上がるので、やっていけないのではないかと考えました。

【副委員長】課題としてスタッフの若返りを挙げていますが、具体的な見通しを教えてください。

【川路さんち】非常に難しいです。テンミリオンハウスが始まった時には、スタッフに60歳以上が半数いると補助金が加算されていたので、60歳以上の方を一生懸命探していましたが、途中でそれがなくなりました。そんなに急に若い方といわれても難しいです。ただ、スタッフみんなが年を重ねて利用者と同じような年齢になっては、ということもあり、また他のテンミリオンハウスも若い方が一生懸命やってらっしゃるので、徐々に若返りを図ろうと努力中です。

【副委員長】70歳以上のスタッフがいると加算があっても良いのでは、というお考えもありますか？

【川路さんち】今からではとても無理だと思いますので。

【副委員長】それは改悪になったということですね。

【委員】先ほどの副委員長の質問と併せて、来年度から利用料が100円ということですが、利用されている方はどう感じてもらいますか？まだお伝えしていないということでしょうか？

【川路さんち】皆さんにではなく、それとなくお伝えしたところ、「それは無理もない、私

たちは大丈夫よ。」というご意見をいただいています。もう少し上げれば良かったかなとも思っていますが、今年使った分を合わせながら、管理費を抑えて、とりあえず1年間は100円でやっていこうと思っています。

【委員】たかが100円、されど100円ですが、お金の重さはあると思いますし、いくらが適切かは難しいですが、適切な料金設定、利用されている方にご負担のない、かつ運営に資する形でやっていただきたいと思います。

【委員長】予算についてですが、事業資金計画の一番上、職員俸給の説明欄の大掃除5,000円×4日とありますが、これはどういうことでしょうか？

【川路さんち】大掃除を年に4回、朝9時から1時くらいまでやるということで、その大掃除に出た人に対して、1日5,000円お支払いするというものです。押入れや物置など片づけることがたくさんありますので、年4回としています。責任者が5,000円で、スタッフは4,000円です。

【委員】利用料を100円にするということで、年間28万円計上されていますが、補助規定を見ても、補助金は最大1000万円ですが、土曜日を開所しないと難しいということでしょうか。土曜日の開所については考えていますか？

【川路さんち】土曜日を開けると30万円以上かかってしまうので、土曜日は開けていません。ただ、月に1回は行事で開けています。地域向けの行事、利用者向け行事などです。

【委員】それは加算されないんですか？

【川路さんち】加算されていません。他のテンミリオンハウスは、利用時間が10時から16時ですが、川路さんちは月曜から金曜日は9時から16時まで開け、それに加えて土曜日を月1日開けていますので、何とか加算していただけないかともいつも思っています。今日も9時前から来ている方もいて、夏は10時ですととても暑いので、皆さん早くいらっしゃいます。その辺を考えていただけると良いと思っています。

【委員長】ありがとうございました。では、続いて花時計をお願いします。

【花時計】花時計は、講座のボランティアさんが22名おりまして、そのうちの最高齢の方が87歳です。加えて地域の皆様に支えられて、一緒に花時計の時を刻んでくることができました。26年度には10周年を迎えることができますことを大変嬉しく思っています。

1日30人と多くの方々にご利用いただいて、活気があって明るい花時計となっています。今年度、男性の利用者さんも麻雀には6名の方が新たに登録されまして、男女半々くらいの人数で行っています。

来年度の事業ですが、主に今年度の事業を引き続き行います。花時計の理念でありますホスピタリティを大切にして、私たちは以前からおもてなしの心で居心地の良い空間とそれぞれに合った対応を心がけておりまして、特に会話というものを大事にしていきたいと思っています。ハード面ではなく、ソフト面に心を注いでいきたいと思っています。

10周年の行事ですが、人気のありますコンサートをちょっとグレードアップしたもので、

利用者さんと一緒に楽しめるプログラムをと思っています。

【委員長】ありがとうございました。それでは何か質問はございませんか？

【副委員長】10周年の行事の日などはもう決まっていますか？

【花時計】27年の3月ですので、まだ日程は決まっていません。スタッフの間ではコンサートは決めています。

【委員】今回の事業計画書の中で、26年度に特に力を入れたいことの中で、「その人にあった社会資源についてお知らせしたり、関係機関につないでいくことにより、日常生活への安心感と生活環境を向上させていきます。」とありますが、具体的に検討されていることがあればお聞かせください。

【花時計】25年度に私たちは来ていただく方はどなたでも、居場所を求めていらっしゃる方には居場所の提供を心がけております。来ていただく方が、清潔に日常生活を快適に過ごしていけるような方ではない方がお見えになった時に、それぞれの関係機関にいち早くつないでいって、その人により良い生活を提供したいということがありましたので、そういうことに心を注いでいきたいと思いました。また、乳幼児ママさんは、子育てがとても大変で、心と体のバランスを崩される方も花時計に何人かいらっしゃいました。その方々と話をしたり、お子さまの相手をする中で、だんだんと気持ちがほぐれて信頼関係ができたときに、悩みを打ち明けるといこともありました。私たちはそれをただ聞くということですが、それぞれの方に合った対応をしていくと、今この12月の時点でずいぶん明るくなって変わってこられた方もいらっしゃるの、そういったことに心を注いでいきたいと思っています。

【委員】乳幼児の親子事業をやってらっしゃいますが、どのくらいの方が利用されていますか？

【花時計】乳幼児親子さんはここ最近増えていて、毎日10組前後いらっしゃいます。火曜日は特に多く、20組近くの方が手芸などにお見えになっています。食事も乳幼児枠は6組ということになっていますが、乳幼児親子さんはなかなか予約が取れない状況です。

【委員】その食事については、何か対応策はありますか？

【花時計】広さ等も考えて、1日20人としていますが、乳幼児さんは2人分の席を使うので、他に高齢者の方もたくさんお食事を召しあがりますし、一人暮らしの男性も毎日4名いらっしゃいますし、そのほかにもいらっしゃいますので、だからと言って、乳幼児枠を増やすということは今の段階では考えられないと思っています。

【委員長】ありがとうございました。では、関三倶楽部お願いします。

【関三倶楽部】平成26年度は、それぞれの利用者様の状況や認知症の方の個別の対応を今まで以上に柔軟な対応をしていきたいと思っています。来年から利用予定の方ですが、寝たきりでミキサー食、食事時間が1時間から1時間半かかり、介護施設では受け入れが難しいということで、ケアマネージャーから関三倶楽部に依頼がありました。そのような

利用者様に対応ができるのが関三倶楽部の良さであり特徴だと思っています。すでに同じような状況の方が定期的に2名利用されていて、ゆっくり時間をかけて介護させていただいています。小規模であることを最大限に活かして、みなさまのご希望に沿えればと考えております。入浴に関しても、お体の不自由な方はヘルパー2名体制で安全にお入れできるようにヘルパー一同努力しています。

25年度の反省点としては、レッツトライの講座の回数が大変少なかったことです。26年度は皆様のお役にたてる講座を企画して、みなさまと一緒に勉強していきたいと思っています。以上です。

【委員長】ありがとうございました。それでは、何か質問はございませんか？

【委員】資金計画書ですが、前期は親元のNPO法人から支援金をいただいて運営していたということがあったかと思いますが、今季もしくは来期はいかがでしょうか？

【関三倶楽部】無尽蔵にあるわけではありませんが、もちろん足りなければ出したいと思っています。

また、最近気づいたことですが、今回要介護5くらいの方を受け入れますが、介護保険のショートステイで要介護5でユニット型の施設を使うと、だいたい関三倶楽部の方が安い金額になってしまいます。そうすると、関三倶楽部のような施設をこれ以上作ってはいけないのではないかと思いました。たくさんあるとまずいですよね？

【委員】ユニットケアの場合、ホテルコストを取られるので、施設によって高い低いがあります。西多摩の奥の方のユニットケアであればそれほど高くはありませんが、市内は建設費用を逆算してホテルコストと食費を設定しているので高くなっています。

そもそもホテルコストの導入は、テンミリオンハウス事業が開始された後の7年後、18年改正、19年改正で入った話で、あとから制度化されました。また、ホテルコストについては法人の自由です。例えば、関三倶楽部が競合相手だと思っているユニットケアがあって、関三倶楽部にお客さんがとられると思うのであれば、自分のところのホテルコストを下げればよい話です。位相の違う介護保険という制度と互助活動を同じ土俵で比べない方がよいと思っています。介護保険の事業ではなく、自由に自分たちの支え合いでやりたいということであれば、あまり介護保険制度と比較しなくてもよろしいかと思えます。

【関三倶楽部】お客様にとっては、違いがはっきりわからないというか、介護保険だから絶対に安いはずと思ってらっしゃるところもあります。

【委員】それはいろいろですね。特定入所者生活介護は、一日のショートステイを10,000円取っているところもあるし、それ以上取っているところもあります。もっというと、高齢者支援課の事業ではありませんが、本町在宅介護支援センターでやってらっしゃるアビリティーズさんの事業に高齢者支援課が補助を出していますが、そこも競合と言えば競合と言えます。基本的には関三倶楽部を基本にして、それぞれのところが料金設定をしている可能性があります。

【委員長】開設日を360日というのは、非常に多い数字だと思いますが、25年度は何日で

したか？

【関三倶楽部】毎年、年末年始の5日間お休みをいただくので、毎年360日開いています。

【関三倶楽部】昨年から何でも相談を始めましたが、ポスターが出来上がったので、これをムーバスと地域のコミュニティセンター等に貼らせていただこうと思っております。

【委員長】初めはあまり反響がなかったということですが、原因は何でしょうか？

【関三倶楽部】とっつきが悪かったのかなと思っています。今回はポスターを貼ってから、もう一度小さなチラシを他の場所にも置かせていただこうと思っています。

【副委員長】これはカラスですか？ひとりぼっちということでしょうか。

【関三倶楽部】そうです。なかなかうまくできていると思います。

【委員長】ありがとうございました。それでは、続いて月見路をお願いします。

【月見路】あっという間に1年が過ぎ、2年目に突入したというのが実感です。11月から12月にかけて、テンミリオンハウス相互交流というものがございましたが、私たちにとっては非常に貴重な場になりました。やはり長年運営されているところには安定感があり、スタッフと利用者間で、その施設ごとに独特の空気感、距離感というものを感じました。また、他のテンミリオンハウスのスタッフの皆さんを受け入れることで、月見路の良さもわかりました。例えば、地域の方どなたでもご利用いただける喫茶コーナーや対面型のソファなど、ガラス戸で仕切られた開放的な空間で自然と異世代交流ができています。思えます。がむしゃらに突っ走った1年目でした。2年目は、昨年度頑張り過ぎた部分を少し整理して、落ち着いて日々の運営ができるように努めました。相互交流を経て3年目を迎える私たちは、まだまだ伸びしろがあると思っています。3年目も頑張っていきたいと思っています。

昨年度は1日利用者数を15名と設定しましたが、今年度は実績に合わせて16名としました。午前中のビデオ体操は無料ということで、気軽に参加できることが良いらしく、お部屋いっぱい6名の日が出てきました。また、ビデオ体操前に同じく無料で月1回紙芝居を始めました。こちらは近所にお住いの舞台俳優さんが、もともとは利用者のご家族ですが、ボランティアで紙芝居をやってくださっています。こちらを楽しみにされている方が毎回来所してください。男性お一人での来所も増えてきました。ランチのご利用、散歩の途中、喫茶へのお立ち寄りなどがメインです。

また、月刊つきみじを片手に来所して下さる方もぼつぼつと増えてきました。利用者の入れ替わりなどはありませんが、以上のような状況を踏まえ16名としました。

平成26年度に特に力を入れた点は、計画書に明記したとおりです。月刊つきみじにスタッフの写真を掲載すると、そのあとお問い合わせや来所者が増えるようになっています。これは近所の見知った顔を見つけて安心されるからではないかと思えます。1月号は昨年度に引き続きスタッフの集合写真を掲載し、お年賀代わりの挨拶号とします。また、紙面の工夫も怠らず、マンネリ化しないようにと心がけています。

1月号からは、ランチの食材でお世話になっているお店の紹介を載せていきます。これで、地域とつながっていることをアピールしつつ、ランチの宣伝も行っていけたらと思っています。昨年度はスタッフ指導の手作り講座、らっきょう作りやおはぎ作りをやっていましたが、飲食物の持ち込みや持ち出しと紛らわしいので、今年度からは辞めました。そのかわり月に1度、旬のケーキ週間や手作りジュースの提供を始めました。こちらは大変好評なので、次年度も知恵を出しながら続けていこうと思います。月見路をご存じでもまだ利用するには至らない方もいらっしゃると思いますが、それぞれのタイミングでお越しただけのように、地域のイベント、吉祥寺北コミュニティセンターの文化祭や東部フェスティバルでの宣伝や、福祉の会発行のニュースレターに情報を載せていただいたり、月刊つきみじを名刺代わりに配ったりと次年度も周知活動を続けていきます。

今年度も昨年度に引き続き単発の講座を開催しています。地域の方々ご自身のスキルで、イベントの持ち込み企画を持ってきてくださいます。事前にお話を伺って、月見路にふさわしいと思えるものをお願いしています。先日は、ポーセラーツ講座を開きました。おしゃべりしながら、マイカップやお皿などを作りました。このように、無料の体操や紙芝居、通常のプログラム、そして少し目先の変った講座を開催することで、利用者さんの多様なニーズ、お楽しみを増やしていけたらと思っています。ご利用者さんや地域の方々が、「月見路は落ち着いて運営している」と言ってくれることが励みです。が、その言葉に甘んじることなく、次年度はスタッフのスキルアップ、底上げを行っていきます。地域で行われる勉強会や講演会に積極的に参加していきたいと思っています。併せて防災課、地域防災会と連携して行った防災訓練を次年度以降も行っています。来年の春から消費税が8%になりますが、節約に心がけてランチ、プログラム代も値上げせずに頑張ろうと思っています。この計画書を提出した後、スタッフが2名増えたことも併せてご報告いたします。以上です。

【委員長】 ありがとうございます。どなたかご質問はございませんか？

【委員】 1つご質問させてください。事業計画書の3その他の4番目に、「利用者や地域の方々の発信の場としても活用してもらおう」ということで、イベントの持ち込み企画もされているということですが、テンミリオンハウスにふさわしいものというのは、具体的にどういった基準を設定されているのかを教えてください。

【月見路】 宗教や政治的なものを持ち込まれる方がいますが、こういったものはあまりにも偏るのでお断りさせていただきました。他には、生前整理という講座がありましたが、ご利用者さんは日常の中で、ここが痛い、あそこが痛いというのを抱えながら、でも月見路に来て楽しく過ごされたいと私たちも感じているので、死と直結するような生前整理というのはふさわしくないと考えました。企画を持ち込まれた方のお気持ちはわかりますが、それを行うのはふさわしくないと、やはり楽しく過ごしていただきたいということでお断りしました。それから、子ども向けのリトミックを貸しスペースで行いたいというお話がありました。こちらは料金も発生するようですし、高齢者さんのプログラムをやっている

横で、賑やかなお子さんがやるのはいかがかと思ってお断りしました。これらが主な事例です。

【委員】ビデオ体操ですが、午前中毎日使っているので大変気になりました。でも、利用者が増えているということで良かったと思っています。また、紙芝居も順調に進んでいるということで良かったと思っています。広報紙でだいぶ知られてきて、利用者が増えては来ているようですが、まだ足を運びにくいということも聞きます。コミュニティセンターなどのイベントのときに、いろいろ説明していただいて、これはとても広報になっていると思いますが、もうひと工夫してほしいと思います。それから、利用者へのお声がけをもう少ししてほしいと思います。

【委員長】今の件で、何かお話したいことはありますか？

【月見路】今おっしゃっていただいたように北コミ文化祭と東部フェスティバルには参加させていただいて、月刊つきみじや夏祭りの写真を掲載していますが、前の団体さんが入っただけで利用料 300 円を取っていたというのがなかなか払拭できないというのが実情です。ふらっと立ち寄りいただくだけでは、今は無料です。そこを何とかスタッフも「ハトムギ茶だけ飲んでいただくだけとか、一時避難所として利用していただくだけでは無料ですよ」などと周知はしていますが、10 年間の重みと 1 年半では、まだ追いついていないのかなと感じています。月刊つきみじにも「お立ち寄りだけでは無料です」というのは大きく掲載しています。

それから、利用者の口コミは大きいと感じています。今日も麻雀を利用されている女性のご主人様がいらして、ケーキとコーヒーが美味しいと聞いたので、といらしてくださいました。1 年半かかって、やっと男性が一人でお立ち寄りいただけるようになりました。持ち味を活かしながら、ご利用様が外でも「月見路って良いところよ」と言っていただけのような雰囲気づくりを心がけていきたいと思っています。

【委員】月刊つきみじを毎月発行し、3,300 部ポストインされているということですが、かなり多くて大変だと思います。年間利用者数もだんだん増えて、1 日の利用者数を 16 人と見込んでいますが、利用される方は皆さん登録をしているのでしょうか？登録しないで利用される方はいらっしゃいますか？

【月見路】基本的には 1 回目は体験、2 回目以降に登録していただく形をとっています。お帰りの際に登録用紙をお渡ししています。その日のうちに登録までしてくださる方もいます。夏場に多かったんですが、住宅地と駅前の真ん中に月見路があるので、お買い物や病院に行く途中など、ワンポイントで使われる方は登録無しという方もいます。65 歳以下の方でも、今年度からは乳幼児親子や書道に参加した 20 代の方もいらっしゃいましたが、こういった方は 65 歳以下という登録をしていただいています。それは、月見路を利用されているときに何か事故があったり、ご家族に緊急に連絡が必要な時のためで、来た方全員に強制という形はとっていません。

【委員】実際に登録されている方が増えてきているので、1 日 16 人と見込まれたと思いま

す。毎月 3,300 部をポストイングするというのはかなり労力がいると思いますが、その費用対効果はいかがですか？

【月見路】 私たちが運営するときにワークシェアリングを念頭に置いて考えていたもので、このポストイングはワークセンター大地さんをお願いしています。昨年は無理のない範囲でということで 2,800 部お願いしていましたが、1 年やっていただいて、もう少し幅が広げられるということでしたので、今年は 500 部増やしました。

【委員】 2 点お聞かせください。1 点目は、事業計画の 3 ページ目 6 番の貸しスペース、1 枠 500 円、空いている時間に限り、地域で活動している団体にお貸ししますということですが、資金計画の収入には計上されていないようです。具体的にはどのような形を想定されていますか？

2 点目は、事業計画のその他の中長期目標で、施設内の防災グッズの充実を図るとあります。防災訓練もやっていただいて、一時避難所までの経路、すなわち第 4 小学校まで歩いて訓練されたと思いますが、具体的に充実を考えている防災グッズ、また今ある防災グッズはどのようなものでしょうか？

【月見路】 まず貸しスペースですが、収支計画書の収入の部で雑収入の会場貸代 500 円×10 回、年間 5,000 円で計上しています。昨年度は 80,000 円で計上していましたが、実際にプログラムがほとんど毎日のように埋まっていますので、実際に貸しスペースとして貸し出すのが、月に 1、2 回くらいです。そこも常に埋まるというわけではありませんが、定例化しているのは、市内の視覚障害者団体の情報交換会でいろりドットコムというのがありますが、そちらが 3 ヶ月に 1 回定例で使ってくださいしています。こちらで年 4 回、そのほかに今年は 2 回ほどお貸ししていますので、あと 4 回入るか入らないかということで、10 回で積算しています。

それから防災グッズですが、今はヘルメットと利用者さんにはあまりお伝えしていませんが、3 日分くらいのお水や缶詰の備蓄、簡易トイレがあります。テンミリオンハウスは避難所ではありませんが、いざ何かあった時の簡易的なものとして用意しています。

【委員】 高齢者向けの毎日のプログラムでビデオ体操ですが、他ではあまり見られないので、具体的にはどのようなものか教えていただけますか？

【月見路】 これは、椅子に座って簡単にできる体操ですが、テレビで DVD を 2 本流して、それを見ながら利用者さんが行っています。私たちが始めたことではなく、前の団体の方がずっとやってらしたことで、引き継いだ時に利用者さんがこれは絶対続けてほしいということでした。計画を提出した時は、先生をつけてヨガや簡単な体操をと考えていましたが、強い要望がありましたので続けています。

【委員】 何分くらいでしょうか？

【月見路】 10 時 40 分から 11 時 20 分までで、20 分を 2 本、休憩を入れて合計 40 分くらいです。

【委員長】 ありがとうございます。では、第 1 グループのヒアリングを終わります。

◆ 平成 26 年度事業計画運営団体ヒアリング

第 2 グループ（あおば、くるみの木、きんもくせい、そ〜らの家）

【委員長】 それでは、第 2 グループのヒアリングを始めます。お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。それでは、あおばからお願いします。

【あおば】 あおばの平成 26 年度の事業計画について説明します。平成 26 年度も今まで 12 年間行ってきたように子育て支援施設として行っていきたいと思います。いろいろなお母様方のための手助けになれるように進めていきたいと思います。また、来年度は今まであおばを利用しながらいろいろ学んだ生涯学習などを実践できる機会、分かち合える場を子育ての集大成として、1 年間積極的に提供していきたいと思っております。今、いろいろなお母様たちがあおばに戻ってきています。そのお母さまたちのためにあおばを提供し、これからのお母さんたちのための場にしていきたいと思っております。以上です。

【委員長】 ありがとうございます。では、質問はございませんか？

【副委員長】 平成 26 年度の事業計画で、軽度の障害を持ったお子さんとありますが、具体的にもういらしやるということですが、そのために専門のスタッフさんがいらしやるということでしょうか？

【あおば】 今までもやっていなかったわけではありませんが、重度の場合かなり難しくなりますが、お子さんを連れてきていただいて、他の子どもたちと交われるくらいの軽度の障害の場合、障害児専門の特別のスタッフではなく、保育士を一人つけて、1 対 1 で保育しています。26 年度も同様に行いたいと思います。

【副委員長】 障害を持ってらっしゃるというのは、保護者がおっしゃるのか、こちらで発見するのか、どちらでしょうか？

【あおば】 障害を持っているということで、お母様から電話をかけてきてくださいますので、実際に連れてきていただきます。障害者手帳を持ってらっしゃる方もいますし、武蔵野市内の東幼稚園に通っているお子さんもいます。

【委員】 以前、あおばは北町にありましたが、今はどこでしょうか？計画書の住所は団体の住所でしょうか？

【あおば】 あおばは北町にあります。事業計画書は、ひまわりママの住所です。

【委員】 以前は耐震性の問題がありましたが、それを解消して無事に運営できているということでしょうか？利用者はその後も増えていますか？

【あおば】 耐震工事は昨年度行い、できるということで行っています。利用者は年々増えています。

【委員】 防災訓練はしていますか？

【あおば】 はい、月 1 回、館内でスタッフの下で地震、火災等の防災訓練を行っています。また、年 1 回消防署立会いのもとで行っています。

【委員】 事業計画書にある「ひまわり保育まあーる」というのは、どこにできたのでしょ

うか？また、ここができたこととあおばが関連するようなことはございますか？

【あおば】桜堤の団地内にできました。あおばとは直接の関連はありません。ひまわりママ運営のもとで行っていますので、人員構成には変化ありますが、あおば自体の変化はありません。

【委員】あおばでは待機児童のことは全くないということでしょうか？

【あおば】あおばは保育園機能ではなく、一時預かり機能ですので、待機児童になりえない、例えば、パートで働いてらっしゃるとか、自分のリフレッシュのために使われる方が多いです。

【委員】1点教えてください。先ほども触れていましたが、事業計画のその他で、「また、母親たちが当施設を利用しながら学んだ生涯学習などを実践できる機会・分かち合える場を提供する」とあります。ここを利用された方がまた戻ってくるというのは、非常に重要なことだと思いますが、具体的にはどういったことでしょうか？

【あおば】あおばにお子さんを預けたお母様たちが、ここで学んだ習い事等で修了証をもらい、資格をもらった方が、あおばに来ているお母さまたちにその成果を見せたいというお話が来ているので、平成26年度はそういった方々のために開放したいと思っています。

【委員】収支会計の明細書の法定福利費で雇用保険を計上されていますが、これは何か基準はありますか？全員でしょうか？

【あおば】週30時間以上のスタッフについて雇用保険を計上しています。

【委員】健康保険や年金は個人負担で、雇用保険のみということでしょうか？

【あおば】施設長のみ常勤のため、社会保険に加入しています。

【委員長】予算書の後に事業資金計画書をつけていただいています。予算書との関係はどのようになっていますか？人件費が予算書と違うと思いますが、積算の基礎でしょうか？

【あおば】事業資金計画書は、積算の根拠で明細になっています。

【委員長】趣旨は分かりました。ありがとうございました。では、次にくるみの木、お願いします。

【くるみの木】まず初めに、先日、来年度からの運営をワーカーズどんぐりに採択していただきましてありがとうございました。プレゼンテーションの際にいろいろご質問をいただきまして、改めて検討し、来年度に向けてどのような視点で運営をしていきたいか、プログラムの充実、広報等の課題を再認識し、みんなで検討いたしました。5年目を迎え、自分たちの運営を振り返る良いチャンスだったと思いました。ありがとうございました。

くるみの木は、来年度から新しい人事にいたします。5年間施設長を務めました鈴木に代わりまして、松尾が施設長、勝又と鈴木が副施設長となります。2人とも開設当初からメンバーで、5年間どのようにしたら地域住民の方に気持ちよくくるみの木を利用していただけるとか、そのためにプログラムをどう工夫するか、スタッフ一人ひとりがどう利用者

に向かい合うかなど、いろいろな課題を一緒に考えてまいりました。これからも5年間力を尽くしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年度の事業計画に関しましては、先日の事業採択をいただいたときに提出したものと改めたところがございますが、特に力を入れて取り組みたいこととして、新たに土曜ランチの開始、単発講座の増加、講師の方々の懇談会を挙げさせていただきました。土曜ランチにつきましては、かねてよりくるみの木の課題でした。利用者の方々の声が多く、また先日行ったアンケートにもお声がありました。以前よりどんぐり側の体制のみが課題でしたので、そのあたりを十分に検討し、メンバーの合意を得て、土曜ランチを開始するに至りました。実施することになりました上ではたくさんの方にご利用いただきたいと思っておりますが、初めは8食くらいから準備し、広報活動に努め、様子により増やしていきたいと考えております。プログラムに関しては、後ほど松尾からご説明いたします。

講師の方々のスタッフ懇談会は、今年度の応募に際して、5年間で初めて行いました。プログラムの充実のために、どんぐりのスタッフと講師の方々の話し合いをととても大事にしてプログラム作りをしています。積極的にかかわっていただくためには、講師とのコミュニケーションは大事なことは言うまでもありませんが、くるみの木でどのような講師の方々が教えてくださっているかという横のつながりもとても大切だということになりましたので、これからは毎年行うことになりました。

来年度から鈴木に代わりまして施設長を務めます松尾と申します。よろしくお願いいたします。プログラムについてですが、くるみの木では月に1度以上プログラム会議を開いて、プログラムの現状や参加者の様子などを確認したり、利用者の要望に応えるにはどうしたらよいかなどについて話し合いをしています。例えば、太極拳で当初からやっている方と初心者とが両方満足していただくためにはどうしたらよいかなど、毎回様々なことを話し合っ、より良いプログラム作りに努めています。平成26年度については、日常のプログラムは基本的には今までのものを継続していきたいと思っておりますが、そのほかに単発のプログラムを月に1、2回行って、より多くの方に来ていただける工夫をしていきたいと思っております。

【委員長】ありがとうございました。それでは、ご質問はありますか？

【委員】1点教えてください。土曜ランチを始めるということですが、特に個々の事業の計画の中で、広報活動はどういった形で進められるのでしょうか？

【くるみの木】土曜ランチの広報は、今は施設内にこれからポスターを貼ったり、季節ごとに発行しているニュースレターでご案内するなど、これから考えていきます。あとはホームページとブログでも広報していきたいと思っております。

【委員長】予算書を拝見すると、レスパイトに関する経費が全て0になっていますが、これはもうやらないということでしょうか？

【くるみの木】5年間やってきましたが、利用者からいただく費用の面で少し高かったのかと思います。1時間800円で設定していましたが、お預けになるときに2時間では済まず、

3時間になると 2,400 円となってしまいます。お問い合わせはありますが、利用料が少し高いことや人員体制、また、当初お預かりできると思っていた土曜の時間帯に、くるみの木のプログラムがだんだん増えてきたことなどで、当初お預かりできると考えていた場所が埋まってしまったということもありました。そこで、来年度からにつきましては、運営団体のワーカーズどんぐりが事務所を広げましたので、その事業を移していても良いのではということになりました。今までお問い合わせのあった方に対しては、もう少し利用料を取らずにできるのではないかとということで、くるみの木での事業は削除しました。ご利用いただく、来ていただくことはもちろんできますが、レスパイトという事業としては辞めることになりました。

【委員】 利用料金については、参加費は無料となっていて、プログラム参加料という形で料金をいただいているようですが、全く料金を払わない方はいらっしゃいますか？

【くるみの木】 来ていただいてお茶を飲んだりお話をさせていただきただけでは、全く料金はいただいております。プログラムに参加していただく場合は、今年度までは 100 円でしたが、来年度からは 200 円をいただくことになりました。

ご質問は全く料金を払わない方がどれくらいいらっしゃるか、ということによろしいですか。だいたいみなさんお昼を注文してくださったり、お茶を飲んでくださったりして、プログラムに参加されなくても、100 円、200 円は使っているというので、全く使わない方は 1 人か 2 人だと思います。

【委員】 負担感というのはあまりなさそうですか？

【くるみの木】 そうですね。先ほど川路さんちでのお話にもありましたが、私たちもちょっとにおわせていろいろ伺ってみると、「当たり前でしょ。こんなに安く普通できないわよ」と言われます。私たちもお食事とプログラムどちらにするかを考えましたが、やはりお食事を上げるのはやめたいと思ひまして、プログラム参加料を上げることにしました。

【委員】 1 点お聞かせください。利用料金についてお聞きしますが、プログラム参加料を 200 円に上げて、健康麻雀は飲み物込みで 300 円という設定をされています。利用料収入で、プログラム利用料収入と麻雀利用料収入を違う欄に書かれていますが、単価が同じ 200 円となっているのは、飲み物は別のところに計上されているということでしょうか？なぜ、麻雀だけ飲み物込みでセット料金になっているのでしょうか？

【くるみの木】 実は麻雀の時に水分を取っていただきたくて、飲み物込みにしています。大サービスで最初に飲み物をお聞きして、水分を取りながらやっていただいています。

【委員長】 ありがとうございます。それでは、きんもくせいをお願いします。

【きんもくせい】 おかげさまで、きんもくせいも今年 10 周年を迎えました。開設当時 80 代の方ももう 90 代になっていて、大正生まれの方だけでも 15 人くらい登録しています。冗談で大正会を作ろうかというような話も出ていて、毎日のようにランチに見えて、お話をなさっています。利用される方も、例えば 86 歳の女性がカリウムを取ってはいけないと

ということで、生野菜や果物を外したメニューを提供して喜ばれています。その方が、以前鬱になって大変な時に、近くの医者にきんもくせいに行きなさいと言われ、利用されるようになってから鬱が治ったと言ってくださいました。特に病気をなさいている方は、一人でいると気が滅入ってしまうので、きんもくせいに来て、いろいろな方とお話しができて楽しい、元気になると言ってくださいる方が多くいらっしゃいます。

男性の利用者も多くいらっしゃいます。90歳で向学心が旺盛な方がいらっしゃって、亜細亜大学、成蹊大学を聴講していらっしゃいますが、当時のランチの際のエピソードとしてこんなことがありました。ご高齢のため、周りの方から「お体大丈夫ですか？今日はどちらに行かれたんですか？」と聞かれ、「今日はせいけいに行ってきました。」とおっしゃって、それが整形外科ではなく、成蹊大学に聴講に行っていたというように、とてもお元気な方がいらっしゃいます。

定期的に桜堤ケアハウス在宅介護支援センターとも情報交換を行っています。少し気になっている方10名くらいに関して、直接ケース検討をしていくと、担当のケアマネジャーさんを教えていただいて、連携をとりながらその方の様子を見る、また、後になって認知症になっていたことがわかるということもありました。認知症かどうかは、あらかじめ届けていただいているわけではないのでわかりませんが、今年から登録の際にケアマネジャーさんの連絡先を入れていただくことにしましたので、今後は少しそういった情報もわかってくるのではないかと考えています。

4丁目の福祉の会の方々も、要援護者のネットワークの打ち合わせにきんもくせいを使っていたり、民生委員さんとも日頃連携をとっています。これからも地域の中でいろいろな方々の様子をうかがいながら進めていきたいと思っています。

【委員長】ありがとうございました。それでは、どなたかご質問はありますか？

【副委員長】お誕生カードにお食事券を付けるというサービスはいつ頃からなさっていますか？

【きんもくせい】これは、開設の頃から行っています。お誕生カードの他に、サンクスカードというものがございまして、ボランティアで関わってくださった方にお礼をしたいときに、お食事券になるようなものをお渡しします。金銭でお礼をするより、こういった形の方がまた気軽に来ていただけるということで喜ばれます。

【委員】運営法人さんの特徴としてやむを得ないのかもしれませんが、支出の部の人件費の非常勤職員給与でその他非常勤スタッフ賃金で、本部アドバイザーが14.85万×12か月とベースアップされていますが、どれほどきんもくせいの運営に直接的に関与されているのかご説明いただけますか？

【きんもくせい】まずテンミリオンハウス関係、現場の伝票類は現場で行いますが、その収支関係、会計処理は大体毎月三多摩事業本部の総務経理担当者が、月に3、4日間はきんもくせいの事務作業を担っております。それから、例えばエリアマネージャーの役割のものが、法人で行う研修等の情報を伝えたり、教育訓練といったものを含めてアドバイス

をするといった形で関わっています。

【委員】月3、4回で14万円は高くありませんか？その中に市の補助金が入っているということですね。市の1000万円の補助金の一部が互助の仕組みで使われているのではなく、法人本部のアドバイザーさんの人件費に代わっているということですね。例えばその賃金分が、市の補助金の1000万円を超える部分でアドバイザーさんにお支払されているなら良いと思います。月14.85万円で、他の施設もアドバイスをされているとすれば、この事業の趣旨としては按分するべきではないかと思います。皆さん全部互助でその経理もやっているのであって、専門的な方のアドバイスを恒常的な給料として保証するのはいかななものかと思います。

【きんもくせい】3、4日というのは総務経理アドバイザーで、そのほかにエリアマネージャー的な関わりが3、4日から1週間くらいのニーズがあります。2年前の監査でその内訳については提出しています。

【委員】わかりました。

【委員長】そのあたりは私も気になります。例えば、常勤の施設長は月額14万円です。責任者手当が3万円付きますが、本俸は14万円で、アドバイザーはその常勤の施設長以上にとっているわけです。

【きんもくせい】アドバイザーは1人ではなく複数です。総務経理担当者とアドバイザーは別です。

【委員長】名簿ではどの方になりますか？

【きんもくせい】3、4日というのは、一番下の真木というもので、総務経理担当です。14.85万円のうちの約3万円ほどです。今現在私は、兼任で施設長をやっておりませんが、2年半前まではエリアマネージャーをやっていて、月に4、5日くらいの関わりがありました。その後、前任の施設長が転勤になりまして、現在は施設長とエリアマネージャーを兼任し、100%きんもくせいに入っています。来年度からは、施設長のほかに、エリアマネージャー、運営アドバイザーとして私、斎藤が入る予定です。従って、真木の按分された3万円以外の11万円ということになります。

【委員長】2人分ということですね。週何日くらい施設の業務に関わる予定ですか？

【きんもくせい】2人分です。来年度は週2、3日の予定です。

【委員長】給料の面で施設長とのバランスが取れていないと感じています。この件については別途お聞きすることがあるかもしれません。他にありませんか？ありがとうございます。続いて、そ~らの家お願いします。

【そ~らの家】そ~らの家は新しいメンバーになりまして、いろいろな面でスタッフも意気揚々とやっております。今年度、特に土曜日を1年半やってきて、平成26年度の予算を考える中で、土曜日についてどうするか検討しましたが、やはり定着しつつものであれば、このままやっていきたいということで、来年度も同じ計画としております。

先日、TBS ラジオの方がどういう間違いか認知症カフェについて取材に見えました。そ～らの家は認知症カフェを特別謳っているわけではないというご説明をしました。取材は朝 10 時頃からお昼までということでしたが、しっかり皆さんの中に溶け込んで、私たちにもいろいろなことが聞きたいということで、結局 4 時半までいらっしゃいました。実際の放送は 5 分足らずでしたが、ちょっと驚きましたのは、テレビと違ってラジオはそれほど聞いている方がいないのではないかと思っていましたが、放送が終わった途端、「ラジオ聞きましたよ」という連絡が多くの方からありまして、ラジオでもこんなにたくさんの方が聞いてらっしゃるということがわかりました。認知症カフェというのは驚きましたが、内容はそのようなものではありませんでしたので、少しほっとしました。

水曜日についてですが、前回もご報告いたしましたが、レディーススカイという 20 名ほどの合唱団ができて、東町の新生会という町内会からお声がかかり、参加いたしました。町内会の方たちは、みなさん立って歌ってらっしゃいますが、私たちは椅子や車いすの方の 20 名だったので、80 歳を過ぎてもこんなに元気に声を出して歌っているということで、ずいぶん多くの方が感動されていました。

それから、誕生日のお祝いですが、今までは品物をお渡ししていましたが、今年からお食事券をお渡ししています。もちろんご自分で食べることも良いのですが、ご家族、お友達をお連れして食べていただくというような新しい試みを始めております。以上です。

【委員長】ありがとうございました。それでは、質問はございませんか？

【副委員長】利用対象者に障害者も入っていますが、実績としてはどれくらいでしょうか？

【そ～らの家】今現在、車いすの方がお二人いらして、視覚障害者の方がずっとお風呂を利用していましたが、就職されたということで、たまにお風呂に入れてほしいということでいらっしゃいます。以前のように定期的ではありません。

【副委員長】では、お二人ということですね。

【そ～らの家】そうです。ただ、毎日お食事に来ている男性で認知症の方がいらっしゃって、お電話をしないと忘れてしまいます。早いときには朝 7 時半頃、自転車で散歩の途中にお茶を飲ませほしいといらっしゃることがあります。携帯電話には出ていただけるので、11 時半過ぎに「今日は来ていただく日ですよ」とご連絡しています。

【委員長】入浴の利用状況はいかがですか？

【そ～らの家】今、88 歳の男性が週 2 日利用されています。この方はほとんど耳が聞こえません。非常に心配していますのは、お風呂の中で寝てしまうので、油断ができません。常に様子を見てお声がけをしながら、スタッフ一同注意をしております。非常に大きな声でお話をしませんとお話を通じないので、以前から補聴器を入れてほしいという願いをしていますが、毎年お正月になると「今年は入れる」といってくださいますが、一向に改まっていません。お嬢さんにも連れて行ってくださるようお願いしていますが、そのあたりがなかなかうまくいっていないというのが現状です。

【委員長】視覚障害者の利用があったと思いますが、こちらはいかがですか？

【そ~らの家】 マッサージの仕事についてしまわれたので、以前ほど来ておりません。お風呂が 200 円で入れるところはここしかないので、たまに利用させていただいています。

【委員】 いつも土曜日のことでご相談をいただいています。平日と同じ態勢だと赤字になると思いますが、健康麻雀はされていて、スタッフのやりくりや健康麻雀は飲み物込みで通常の利用料金より高めに設定されているなど、そのあたりのご苦勞、工夫について、土曜日の関係で教えてください。

【そ~らの家】 確かに 1 年やってみて、きついというのが現実でした。しかし、利用料は 300 円いただいております。9 時半から 3 時半までと長い時間ということと、あとお食事代を 300 円いただいております。通常のお食事代は 500 円ですが、その中におやつ代も含まれています。そのあたりも若いスタッフが非常に頑張っていて、ワンコインでやっています。麻雀の場合は通常のものほど品数は多く出しておりませんので、300 円という設定にしています。

【委員】 赤字にはなりませんか？

【そ~らの家】 少しは持ち出しになります。

【委員長】 ありがとうございます。それでは第 2 グループのヒアリングを終わります。

【委員長】 それでは、平成 26 年度事業の採択協議に入ります。その前に、議事録の公開について確認させていただきます。前回、運営団体の公募があった際に、委員会で審議したことは非公開だと思い込んでいましたが、議事録が送られたときに確認しましたところ公開されているということでした。そのことについて、課長から先にご説明いただけますでしょうか？

【事務局】 委員長からそのようなお話をいただきまして、改めて確認をさせていただきました。武蔵野市テンミリオンハウス事業採択・評価委員会設置要綱がございまして、第 11 条で「委員会は必要に応じ、委員長が招集する。」という第 1 項がございまして、第 2 項で「委員会は非公開とする。ただし、第 4 条の面接、ヒアリングですが、このヒアリングについては公開とすることができる。」ということで、傍聴の方にもお入りいただいています。会議を非公開とするというのは、例えば、審査をしている際に運営に公募された団体の方がいらっしゃると無言の圧力があつたり、あるいは審議がしづらいといったこともおありでしょうから、その部分については非公開としております。ただし、審議をしていただいた結果について、A と B という 2 者があつた場合に、どうして A の方が良かったのかについての内容がきちんと伝わらないとご納得いただけないのかなということ、また、ここで委員さん方にご審議をいただいている内容を議事録という形で他の団体にお示しすることで、勉強にもなるというご意見も頂いていますので、議事録については平成 22 年の要綱設置以降、2 回目の委員会から公開しています。ただし、委員長、副委員長、委員という形でお名前を出さずに出していますが、その中でやはり表現として正しくない、公開には適さないなどの不都合があれば、毎回公開前に議事録をお送りしていますので、ご指摘いた

できれば訂正させていただきます。なお、この議事録につきましては、7階の市政資料コーナーに公開資料として置いてあります。また、ホームページにも掲載しております。

【委員長】今の説明のとおりでよろしいでしょうか？

→委員一同了承

【委員長】では、それぞれの団体についてお気づきの点、ご意見などがありましたらご発言ください。

【委員】あおばの件ですが、65 ページに事業内容がございますが、他のテンミリオンハウスと同じように2番と5番については変えたとしても、例えば、7番などもプログラムを月曜日から土曜日までもう少しちゃんと書いても良いと思います。あおばはひまわりママが母体になっているので、ひまわりの事業計画はたくさん載っていますが、それよりも、あおばとしての事業内容の記載が少ないので、もう少しきちんと書いてほしいと思います。

【委員長】私もあおばに関しては同様に感じます。それは、団体の概要についても、テンミリオンハウスの実績がない場合は団体の実績を書いていただくということはありますが、あおばはもう何年もテンミリオンハウスとしての実績があるので、ここは団体の活動内容ではなく、あおばが何をしてきたかを書いていただいた方がわかりやすいと思います。そういった意味では、基本的には、他のテンミリオンハウスの様式をそのまま適用するべきではないか、もちろんアレンジする必要があると思いますが、いかがでしょうか？

【副委員長】そういった意味では、きんもくせいも同様ですが、この点は、必ずしも統一されていないようです。きんもくせいもワーカーズコープの活動内容が記載されていますし、花時計さんのように、ゆう3としての活動と花時計としての活動内容を分けている場合もあります。また、独自活動がない場合は、テンミリオンハウスの活動のみの記載となっています。必ずしもこう書いてくださいとはっきりしていないので、団体、法人としての活動を記載しているのだと思います。委員会の要望として、ここにテンミリオンハウスに関する記載も入れてほしいと伝えるということでしょうか？

【委員長】この件に関しては、事務局で検討をしていただいて、記載内容についての指示をしていただければ済んでしまうことだと思います。その中の一つとして、施設の所在地が明確になるような様式を考えてほしいということ、また、先ほどの月見路さんの貸しスペースについての予算の書き方についても検討をお願いします。この貸しスペースに関してはいろいろ議論もあるかと思いますが、空いている時間なので貸しスペースとするのは当委員会も認めています。貸しスペースを事業として捉えている以上、雑収入ではなく事業収入として計上しないとおかしいのではないのでしょうか。その辺も含めて検討していただき、しかるべく対応していただきたいと思います。他にはございませんか？

【事務局】委員会の中でいただいたご意見をできるだけ反映できるよう検討していきたいと思っております。

【委員】別件ですが、来年4月から8%になる消費税の取り扱いについてです。運営団体

は市から委託費ではなく補助金でもらっているの、非課税の収入となり、課税所得は利用料くらいでしょうか。ほとんど人件費ですので、消費税が上がっても影響はないかもしれませんが、本来は物価が上がった分は賃金を上げるというのが一つの考え方ではないかと思っておりますので、そういった意味では考慮していく必要があるのではないかと思います。テンミリオンハウスなので、1000万円を限度としていますが、検討してみてもどうかと思います。

【副委員長】 補助金にも上乗せした方がよいということですか？

【委員】 そうですね。例えば、1000万円プラス30万円などです。

【委員】 介護報酬でも全く同じことが言えまして、来年の4月から消費税が3%アップすることに伴って、介護報酬もアップします。しかしながら、介護事業は、もちろん物品等購入するものはありますが、人が働くことに消費税はかからないので。消費税が3%上がったとしても、介護事業の場合平均して人件費が6割から7割なので、その分については値上げから差し引かれます。結果として、消費税が3%上がっても今の予測だと1%上がるかどうかかわらないという状況で介護報酬設定がされています。ただそうすると、区分支給限度額が各要介護別に決まっていますので、これも上げないと、今まですれすれでサービスを受けていた方が1%ずつでも積み上がっていくと、区分支給限度額より上がってしまうので自己負担が増えてしまうので、そのあたりは保証しましょうという形で議論が進んでいます。年内に一定の方向性が出ると思います。

こういったことを考えますと、テンミリオンハウス事業の場合、実質的にはほとんどが人件費相当なので、厚生労働省的な消費税アップと介護事業の見合いでいうと今のところは吸収できる範囲内と考えています。運営団体の代表者会議を事務局や市民社協のみなさんと定期的で開催しておりますので、そのあたりのダメージがどれくらいあるのか、吸収できるものがどれくらいあるのか等については、現時点では厚生労働省見解を基本としながら、今後皆さんとよく相談をさせていただければと思っています。

【委員長】 3%の段階では吸収できると思いますが、5%アップになった時に、要するに複数の税制にするのかどうかこれすらも方向性が出ていないのでわかりませんし、出ないと方針が出せないのではないかと感じます。人件費と食材関係が複数で減税されたら、ほとんど関係ないという状況も出てくるかもしれません。

【委員】 食費の減税がされれば、介護に関するものも見ないといけませんね。通常のデイサービスでも同じことが言えます。700円取っているところが710円にするのかどうかというところが、事業者さんのホテルコストの設定で同じことが言えますので、そのあたりも推移を見なければいけないと思います。補助金の部分で上乗せすべきなのか、利用料に転嫁をするのか、例えば、テンミリオンハウス以外の食事を食べたときやコンビニ弁当を食べたときも同じ消費税を取られるとすれば、食事にかかわる費用については、申し訳ありませんが利用者に負担してもらえませんか、という考え方にするのかどうかという問題はあります。デイサービスの事業者も法人の体力があるところは吸収できますが、無い

ところは無理です、ということがありますので、推移を見ながら検討していきたいと思っています。

【委員長】他に何かございますか？それでは、本日各団体から提出された平成 26 年度の事業計画については、一括して採択するというところでよろしいでしょうか？

→ 委員一同賛成

【委員長】では、採択とさせていただきます。

(2) 平成 25 年度テンミリオンハウス事業採択・評価委員現場視察について

【事務局】資料 4 に基づいて説明。

【委員長】平日の分は、ここで決めるのでしょうか？

【事務局】後日、日程表をお送りしますので、そこで調整させていただきます。

【委員長】わかりました。他に何か質問はございますか？特になければ、事務局の提案どおり行いたいと思います。

(3) その他

【委員長】その他について、何かご発言はございませんか？では、無いようですので、以上をもちまして、第 3 回委員会を終了いたします。ありがとうございました。

4 閉会